



香南の下で元気いっぱいの子供が子どもたち



Kanan Winds



バオベニアセロシグラーズスクール(シンガポール)との交流。国際書展と同時に行われた伝統文化を学ぶ



13年上の風を伝える歴史の礎
家系出身の船長(船員島島平)の碑と礎



小島一庄の上正阿彌宮蔵書室の香南(大日尊)

豊かな心を育む人づくり、受け継がれる熱き心

私たちのまちには、先人たちが培ってきた歴史文化が数々と受け継がれ、現在も数多くの有形無形の文化財が残されています。春は、四国で第8回(八幡社)「大日尊」をめぐって行き交うお遍路さんに出会い、夏には灯籠節の夜に輝いしれ、秋には太鼓やお囃子の音色に心躍らせ、冬には大空を舞う勇壮な土佐風に感奮し、年を通じて暮らしていく中で豊かな文化がちりばめられています。

こうした歴史の中で、子どもたちは、人や物との出会いや体験を通して地域の歴史や文化に触れながら、心豊かに育っています。

夜間町では、鎌倉時代の念仏踊りの流れをくむ「手結盆踊り」二軒保護顕彰文化財が、江戸時代から手結屋敷の人たちによって継がれていきます。長者の高齢化が進む中、「二軒り」を継承しようと、子どもたちも無難に稽古に励んでいます。

香我美町の浅上王子宮では、「山北の棟舞り」(県保護無形文化財)の後継者を育てるために、小学生による小神に取り組んでいます。吉川町では、地域に伝わる太鼓・舞

風の道

しるへ



香我美町天満宮境内にある樹齢約550年の「天神の人木」(国天然記念物)

子舞(子ども)の手、復活継承しています。また、香我美町と野市町には、土佐風の保存会があり、幅広い年齢の愛好者がいて、それぞれの地域で「新風揚げ会」(二月)、「旧正月揚げ会」(二月)を開催しています。これらの伝承活動をを通して、子どもたちも大きな自信とやる気を持つようになったと指導者たちが感じています。

大人から子どもへ、先輩から後輩

「地域が一つにならなければ豊かな文化が大切に受け継がれていきません。香南市では、「子ども」に夢、「青年」に希望、高齢者に生きがいをもたせ、自らに誇りを持ち、互いに認め合う風を醸成を基本として、創造と個性に富んだ人間性豊かな人づくりを進めています。そして、自信に満ち、きらめく目を輝かせた子どもたちが、夢を育み、香南市の未来を切り開いていくこと目指す。



学校の子どもたちが習字の専門家について行う「習字授業」



「お盆舞」で鎌倉時代について熱心に学ぶ子どもたち



「香南見神社の幟作り」日々の暮らしの中で働くお母さんや子どもたちが地域の伝統文化を大切に継いでいく